

CG-ARTS 協会のデジタル映像分野における活動

— 人材育成と文化振興 —



A. 人材育成

デジタル映像分野の人材育成を目的として、カリキュラム編纂、教材開発、指導者養成、検定試験を実施。

1. カリキュラムの編纂と教材の開発

1985年から、CG、画像処理、マルチメディアの各領域で基礎から体系的に学べるカリキュラムを編纂。入門から専門までの教科書や問題集などを発行している。

2001年からは150人以上の産学から各分野の専門家を集め、これからのデジタル映像分野の人材育成を目的とした新カリキュラムの策定を進めている。詳細内容は2004年8月に発表予定。



[30種類、販売総数約7万冊(2003年度)]

2. 検定試験の実施 (CG検定、画像処理検定、マルチメディア検定)

文部科学省認定CG検定、画像処理検定、マルチメディア検定、デジタルコミュニケーション検定を実施。各領域で基礎から専門までの知識と技能の習得度を全国レベルで客観的に評価。デジタル映像関連の検定としては最大規模。新カリキュラムに準拠した新検定は2005年1~3月に試行試験、11月に本試験を予定している。

[出願者総数48,469人(2003年度)]

3. 指導者の養成

教育者向けにCG-ARTS協会のカリキュラムの指導方法を習得するための講座を開講。現在はCGとマルチメディアの2分野で実施している。

[認定教育校109校、認定講師396人(2004年3月現在)]

B.文化振興

メディア芸術の文化的な発展のために、コンテスト、海外交流、クリエイター支援、調査研究を実施。

1. 文化庁メディア芸術祭

アート、エンターテインメント、アニメーション、マンガの4部門で実施している国際的な公募展。8～10月に作品募集し、2月末にメディア芸術祭を開催。受賞作品は国内だけでなく海外でも広く紹介している。

[第7回応募作品数1,584作品、応募国数43ヶ国、来場者数30,179人]

2. 学生CGコンテスト

若い才能の発掘と発表機会を提供するために開催。デジタル技術で作成された静止画、動画、インタラクティブの3部門を対象に9～10月に作品募集し、2月末に受賞作品展を開催。応募作品数の増加とともにレベルの向上も著しい。

[第9回応募作品数1,706作品]

3. 文化庁研修制度の推薦（メディア芸術分野）

芸術家やアートマネジメントの方々に対して研修や留学を支援する施策。

CG-ARTS 協会は「新進芸術家海外留学制度」や「新進芸術家国内研修制度」等において、メディア芸術分野の推薦団体に指定されている。募集は6月～8月。

[10人推薦、5名内定（2003年度）]

4. 政策提言のための調査

文部科学省からの受託で「先端科学技術をメディア芸術へと文化的価値を高めるための施政の在り方」を調査している。平成15～16年の2年間で国内外のメディア芸術の現状や問題点を幅広く調査し、科学技術と文化芸術の融合や、先端科学技術をメディア芸術に有効活用させるための施策などをまとめていく。



C. デジタル映像分野の新カリキュラム

産学の協力により、これからのデジタル映像関連のクリエイターや技術者を育成するための新しいカリキュラムを構築。

1. 特徴

- ・ デジタル映像関連のクリエイターと技術者を育成するカリキュラム
- ・ 学術体系を押さえつつ、社会で求められる能力を育成
- ・ 産学 150 名以上の専門家が 3 年以上かけて編纂

2. 新カリキュラム

「表現系カリキュラム」＝デジタル映像関連のクリエイターや制作者を育成

「技術系カリキュラム」＝デジタル映像関連の技術者や開発者を育成



4. スケジュール (予定)

- ・ 2004年8月 正式発表 (カリキュラム、テキスト、検定)
- ・ 2005年1月～ 試行試験 (3級レベル)
- ・ 2005年11月 本試験 (2級、3級)

CG-ARTS 協会 (財団法人 画像情報教育振興協会)

〒104-0031 東京都中央区京橋 1-11-2

tel 03-3535-3501 fax 03-3562-4840

info@cgarts.or.jp

http://www.cgarts.or.jp/